



## 4.7

2030年までに、持続可能な開発のための教育及び持続可能なライフスタイル、人権、男女の平等、平和及び非暴力的文化の推進、グローバル・シチズンシップ、文化多様性と文化の持続可能な開発への貢献の理解の教育を通して、全ての学習者が、持続可能な開発を促進するために必要な知識及び技能を習得できるようにする。

## 12.5

2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。

## 3.4

2030年までに、非感染性疾患による若年死亡率を、予防や治療を通じて3分の1減少させ、精神保健及び福祉を促進する。

## 菊池 優子

附属病院

口腔診断・総合診療科

# デンタルX線写真のデジタル化に対応できる 研修歯科医の育成で環境に配慮

デンタルX線撮影は歯科治療時に頻繁に利用する検査です。本学の臨床研修歯科医が撮影しているデンタルX線写真の評価を行い集計し、再撮影や研修医別の評価を行い、研修医に対する撮影と診断の指導方法の変更を検討しています。

近年、X線撮影はアナログ方式からデジタル方式に取り替わってきています。デジタル方式に代わると、アナログ方式で使用した現像のための溶液や、撮影フィルムに入っていた鉛板が不要なため、環境に配慮したデンタルX線撮影といえます。デジタル方式で撮影技術が向上できる指導方法を見出したいと思っています。



### message

より良い指導方法を検討することは、質の高い教育を提供し生涯学習の機会を促進することになります。デンタルX線撮影は口腔内の状態を把握するために重要な診査方法のひとつです。定期的な口腔内メインテナンスを行い、良好な口腔内環境を作ることは、すべての人々の健康的な生活を確保することに繋がります。日々の教育や指導の中にも、世界の変革に役立つ行動があるのだとわかりました。